

# 県民の家と土地を取り上げてダムを造るのか 石木ダム「行政代執行」は許されない

土地は9月19日  
家屋は11月18日が「明渡し期限」

石木ダム問題で、長崎県収用委員会は今年5月、「土地を明け渡すように地権者に求める裁判」を出しました。9月19日の「権利取得の時期」を過ぎ、土地の所有権は、長崎県と佐世保市に移っています。



県議会議員  
堀江ひとみ

さらに、「家屋の明け渡し期限」は11月18日と定められており、反対地権者はそれまでの立ち退きが迫られています。

「ふらふらを守りたい。ここに住みたいだけ」

憲法に保障された幸福追求権と人格権認めよ

公権力で立ち退かせる「行政代執行」は、中村知事の判断です。「家屋の明け渡し期限」である11月18日の翌日以降、中村知事が「行政代執行」をおこなうことが可能になります。「ふるさとを守りたい。ここに住みたいだけ」―反対地権者の穏やかに暮らしたいとの願いは、憲法13条で保障された幸福追求の権利、人格権にもとづいたものであり、行政運営においても最大限尊重されるべきです。

前例のない「行政代執行」はやめよ

堀江ひとみ県議は、10月17日の予算決算委員会の総括質疑に立ち、日本共産党長崎県委員会が10月に行った政府交渉で、国土交通省の担当官が「現在生活している住民を追い出して

進められた事例は記憶にない」と答えていると述べ、「知事が行政代執行をすれば前代未聞の事態となるが、それでも進める気か」とたどしました。

中村法道知事は「家屋や財産を提供していただかないと公共事業は進まない」と、行政代執行を否定しませんでした。

堀江県議は「13世帯60人の家や土地を取り上げて公権力で排除する行政代執行は絶対にあつてはならない」と強く求めました。

「行政代執行は許さない」の声と世論広げよう

強制収用を許さない議連が県に申し入れ

「石木ダム建設の強制収用を許さない」と県民の世論と運動が広がっています。9月には「石木ダム強制収用を許さない議員連盟」が超党派の議員で結成されました。

10月24日、「議連」メンバー16人が県庁を訪れ、中村法道県知事に、石木ダム事業の行政代執行を行わないよう求める申し入れをしました。

代表の城後光波佐見町議(無所属)が、「県民の反対の中、行政代執行を行えば、立憲主義を前提とした民主主義政治の根幹を揺るがす愚行」との申し入れ書を県土木部次長に手渡しました。

日本共産党からは堀江ひとみ県議を始め8人が参加。堀江県議は「県は県民や私たちの声をきちんと聞くべきだ」と求めました(写真)。

日本共産党は、多くの県民のみなさんと力を合わせ、強制収用を許さず「行政代執行」をさせないために力を尽くします。



# 高すぎる国民健康保険税 18歳以下の均等割をなくし サラリーマン健保なみに引き下げを



高く払えない

国保税の今すぐ引き下げを要求

大石ふみき議員は9月10日、一般質問で以下3点を質問しました。

- 1、国民健康保険税18歳以下の均等割の見直し
- 2、幼児教育・保育の無償化に伴う影響
- 3、放課後児童クラブの法人による運営への移行について

大石ふみき議員は国保税の均等割に関して「こどもが1人増えると34,300円の負担が増える。この子育て支援と逆行する国保の制度に地方自治体としてどう対応していくのか」求めました。

市長は「粘り強く国への要請を進めていきたい。その上で様々な子育て施策の中で(均等割見直し)重要か検討したい」と答弁しました。

期限内に国保税を払えない

子育て世代は34.9%と明らかに

子育て世代の34.9%の方が国保税を期日内に払えていない苦しい実態が明らかになりました。また、消費税の増税に伴う幼児保育の無償化では、今回新たに副食費の徴収が行われます。保護者の負担軽減の観点、さらに徴収を行う施設側への対応を求めました。

学童保育の継続的・安定的

運営のために積極的に支援を



大石議員は、放課後児童クラブ(学童保育)の運営を法人に移行することで、「これまでの学童保育の方針が引き継がれるか。雇用主が変わることで指導員の待遇がどうなるのか」と、保護者から不安の声が上がっていることを紹介。「法人化を進める長崎市としてどう対応していくのか」と質問しました。

市長は「今後、学童保育を継続的・安定的に運営していただけるよう、積極的に支援してまいります」と答弁しました。

しかし、学童保育を法人移行したところでは、「保護者が知らない間に決まっていた」方針が変わってしまったとの問題も発生しています。しっかりと対応が求められます。

## 9月県議会・市議会

# 生活保護引き下げの中止(請願)など 市民の利益を守る立場で奮闘しました

しおりの見直し、社会福祉事務所の体制強化を  
中西市議は、本会議一般質問で生活保護行政を取り上げ、  
制度説明のしおりの見直しや支援体制の充実強化を求めまし  
た。市長は、「どういう形がいいのか研究する」と応じました。

長崎市は、「引き下げで生活保護世帯の状況は厳しくなっ  
ている」としながらも、「保護基準額の引き下げは国で決定され  
たもので妥当」との見解を示しました。  
中西敦信市議は、「今回の改定は所得下位10%層との比  
較を根拠としているが、これでは生存権の最低ラインが際限な  
く低下する。生活保護基準の引き下げは貧困のスパイラルをも  
たらす」と請願に賛成の討論を行  
いました。一方で、公明党の委員  
が「引き下げは市も妥当」との見解  
を示した」などと反対し、採決の  
結果、反対多数で不採択となりま  
した。



近年発生している台風は、次々と大型に発  
達し、日本各地で甚大な被害を発生させてい  
ます。その背景には、世界各地で様々な開発が  
進み、気候温暖化が進んでいることがありま  
す。  
日本でも、大企業による無法な森林の伐採  
がおこなわれ、二酸化炭素の吸収を減らし続  
けています。そのことに反省もなく、安倍政権  
はさらに石炭火力発電所を新たに11カ所も  
増設しようとしています。  
環境悪化をもたらす原発や石炭火力発電から、再生可能な自然エネルギー  
ーにいまこそ転換すべきです。

## 台風被害に遭われたみなさんに こころからお見舞い申し上げます

台風15号、並びに19号の襲来により、四国から関東、東海、北海道な  
ど多くの地域で被害が続出しています。長崎市内でも  
農家や地域によって、台風に伴う強風などで被害が出  
ています(下の写真は香焼港の栈橋。台風によって通路  
が破損しましたが、堀江ひとみ県議と大石ふみき市議  
が調査し修理を要請。修理が完了しました)。  
日本共産党は、全国各地で「台風被害救援募金」を  
行い、被災者支援を強めています。  
長崎市内でも10月14日、田村貴昭衆院議員を先頭に、浜の町・鉄橋で  
救援募金を訴えました(写真左)。



### 気候変動により、これからも大型の台風が発生する恐れ

## 景気回復のために、増税ではなく消費税は5%に引き下げを！



### 世紀の愚策！消費税増税

安倍自公政権は、家計消費  
が落ち込み労働者の実質賃金  
も下がり続けているときに、新  
たに消費税を10%に引き上げ  
る暴挙を行いました。  
「ポイント還元を行い、プレミ  
ム商品券を発行するから増税  
の影響はない」などと国民を欺  
いていますが、とんでもありません。  
長崎市では、低所得者に通知しているプレミアム商品券の  
引き替え通知に対して、申請は35.3%(10月末現在)しか  
出されていません。  
二万円購入すれば、5千円分だけだと宣伝しています  
が、その二万円を工面することができないのが低所得者の実  
態です。しかも、このプレミアム商品券は、来年2月末までし  
か利用できません。

### 大企業や大金持ちは応分の負担を 日本共産党

いま必要なのは、増税ではなく国民の暮らしを守ることや  
景気の回復と経済の活性化です。そもそも景気が悪化した  
のは消費税を5%から8%に増税したからです。景気回復の  
ためには、少なくとも5%への引き下げが必要です。  
消費税減税の財源は、大企業の法人税の実質負担率(10  
%)を中小企業なみ(18%)にすることや富裕層の株取引  
にかかる税率を引き上げることなどで可能です。  
そのために日本共産党は全力を尽くします。

## 今年も県民・市民の願いを 国に届けてきました

### 11省庁・41項目の 市民の切実な願いを届けてきました

10月9日、10日、県下の日本共産党議員団は、毎年行  
っている政府交渉を行いました。

「国保税引き下げのために、国によ  
る財源の投入を」「被爆地域の拡大」  
「急傾斜地崩壊対策事業では、要件を  
緩和し十分な財源の確保を」「BSL  
4施設は住宅密集地につくるな」など、  
11省庁に41項目の県民、市民の願い  
を届けました。

急傾斜地崩壊対策事業の申請要件  
の緩和については、できないとしても、  
申請があれば予算をつけること、これまで申請があつた分  
については、すでに予算をつけていることを明らかにしました。  
被爆体験者を被爆者と認めようとする理由に、「新た  
な科学的根拠と知見」を求めているが、旧市内しか認めてい  
ない科学的根拠を示すべきとの要求には、答えることができ  
ませんでした。

交渉には、日本共産党の赤嶺政賢衆院議員、田村貴昭衆  
院議員、仁比聡平前参院議員、真島省三前衆院議員も同  
席しました。

